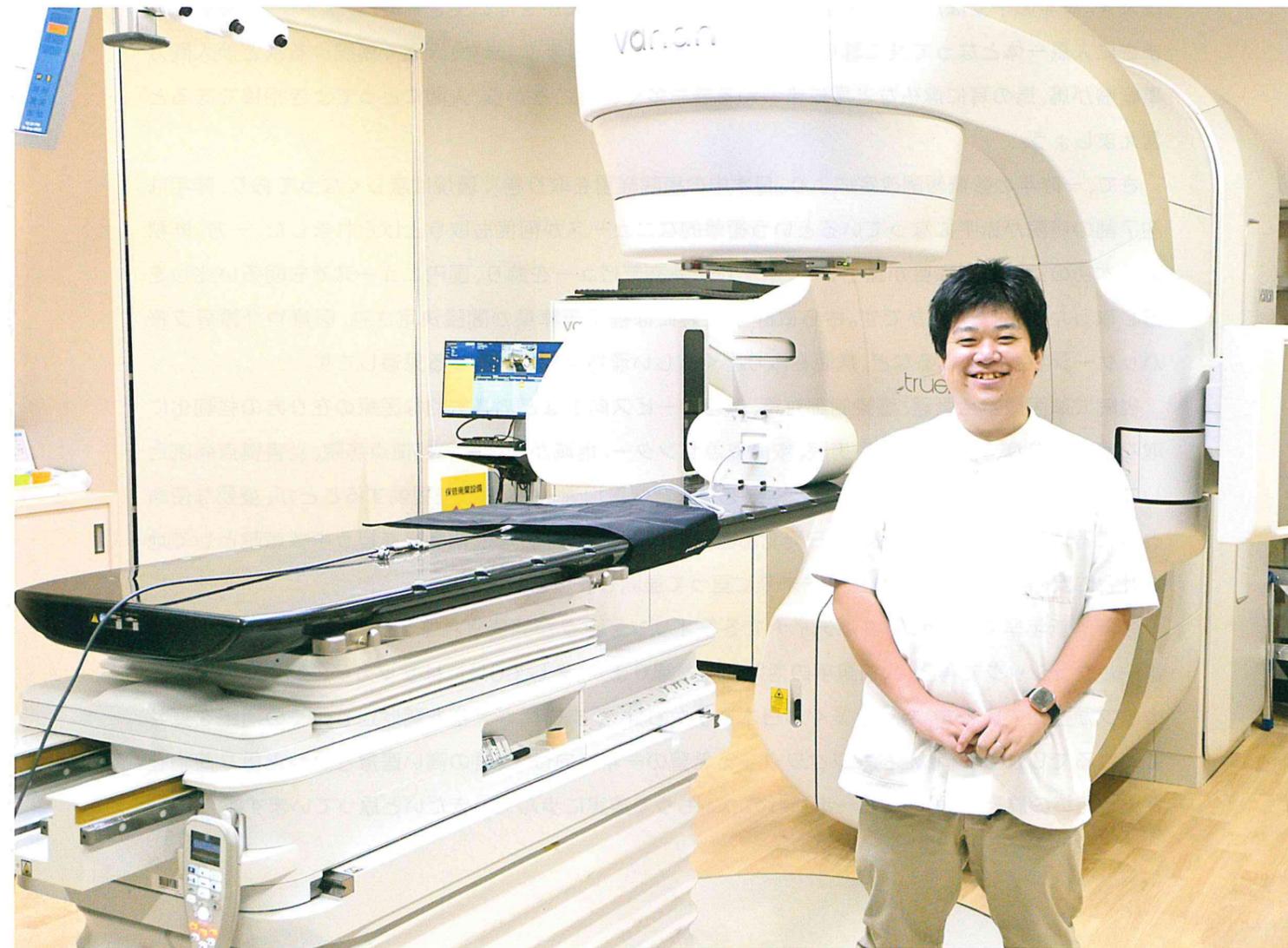


豊田厚生病院 広報誌

豊田厚生 Navi

特集：負担の少ない放射線治療を目指して



病院Instagramのご紹介

当院のInstagramはご存知ですか？
院内のイベントや最新トピックスなどの
情報を随時発信しています！
お見逃しがないう、この機会に
ぜひご登録ください♪

また当院には、臨床工学技士(CE)の
instagramもあります！
CEの院内外での活躍をご紹介します
しています♪
ぜひご覧ください♪



他にも様々な情報を発信しています！

診療日カレンダー [Calendario de Atención]

1月							2月							3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	30	31								29	30	31					26	27	28	29	30		

休診 [Feriado] (2026年)

- P2 — 年始のご挨拶
- P3 — 脳ドック3コースのご案内
- P4 — 負担の少ない放射線治療を目指して
- P6 — 新たに始まる地域医療連携
 - こはく皮膚科
 - 豊田かなでクリニック
- P7 — News
- P8 — 病院Instagramのご紹介

Vol.110

2026 / winter

ご自由にお持ちください





年始のご挨拶



2026年の新春を迎えました。皆様にとって、素晴らしい一年になりますことを心よりお祈り申し上げます。今年の干支は馬です。馬は古来から人間の生活に欠かせない生き物で、農耕や移動・交通などまさに人馬一体となって共に暮らしてきた長い歴史があります。また、天高く馬肥ゆる秋とか人間万事塞翁が馬、馬の耳に念仏など馬にまつわる諺も多くあることから、人間にとってよき相棒であると言えるでしょう。

さて、一昨年の診療報酬改定により、日本中の病院経営を取り巻く環境は厳しくなっており、昨年は約7割の病院が赤字になっているという衝撃的なニュースが何度も取り上げられました。一方、昨秋に日本初の女性総理大臣が誕生して、華々しい外交デビューを飾り、国内ニュースでも明るい兆しを感じ取ったことは明らかです。さらに昨年12月には補正予算案が閣議決定され、医療や介護等支援パッケージが提示されるなど、病院を取り巻く厳しい環境は少し改善する見通しです。

当院では医療安全管理、感染制御対策、患者サービス向上などの基本的な医療の在り方の強化に取り組んでおり、地域医療支援病院、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院としての役割を担いつつ、健診センター事業を通じた健康増進・予防医療を提供することが、重要な使命として考えております。当院は西三河北部医療圏の高度急性期・急性期医療を担う中核病院として地域社会に安心感と持続可能な医療を未来に亘って展開していきます。

今年は新年早々、ミラノ・コルティナで冬季オリンピックが開催されます。春にはワールドベースボールクラシックで再度、大谷選手の活躍に胸が躍ります。そして6月にはサッカーの北中米ワールドカップが控えています。きっと多くの日本選手たちは、干支の馬が天空を駆け巡る如くの活躍を見せてくれるでしょう。 私たちもワクワクする希望の一年に向けて、質の高い医療という貴重な荷物を背負う相棒の馬と、千里の道も一歩からの心づもりで着実に歩んでいきたいと思っています。

豊田厚生病院
病院長 服部直樹



news ニュース

第6回 豊田厚生病院祭を開催しました

去る10月25日、6年ぶりとなる「病院祭」を開催いたしました。当日は、ステージイベントやキッチンカーなどのお祭りらしい催しに加え、健康チェックや市民公開講座、院内探検、手術ロボット操作体験といった病院ならではのプログラムも実施いたしました。また、警察・消防の車両展示やJAあいち豊田による産直市など、外部団体の皆さまのご協力もあり、終始大きな賑わいを見せました。



ご来場いただいた皆さまには、心より御礼申し上げます。今後も医療体験や講座などを通じて地域の皆さまとの交流を深め、安心・安全な医療の提供と健康づくりに寄与できるよう努めてまいります。

歯科用パノラマ装置を更新しました



このたび当院では、歯科撮影装置を更新いたしました。新しい装置では、パノラマ画像の鮮明な描出が可能となり、撮影にかかる時間も抑えられています。これにより、じっとしていることが難しいお子さまでも、よりスムーズに検査を受けていただけるようになりました。

また、新たに歯科用CT撮影が可能となりました。歯やあごの骨の構造を3次元(立体)で捉えることで、従来の平面的な画像では確認しにくかった部位も詳細に把握し、より精密な診断に役立ててまいります。

病院の住所が変わりました

豊田浄水特定土地区画整理事業に伴い、10月11日より病院の住所が変わりました。

豊田市浄水町伊保原500-1



豊田市浄水町1丁目58番地1



2025年11月1日開院
こはく皮フ科

—松井 響子院長に伺いました—



院長 松井 響子

Q1 クリニックの特色を教えてください

こはく皮フ科院長が重症アトピー性皮膚炎で長年苦しんできたこともあり、かゆみがある方に寄り添う皮膚科クリニックです。光線療法に力を入れており、愛知県初導入の光線療法機器のXTRAC Momentumを導入しています。アトピー性皮膚炎、乾癬、円形脱毛症、尋常性白斑、掌蹠膿疱症に適応があります。

Q2 地域医療連携について先生が大切にしていることは何ですか？

皮膚についてのお困りごとがあれば、どんなことでも気軽に来ていただけたら嬉しく思います。ただ、クリニックでできる治療には限りがあり、専門的な難しい治療については、豊田厚生病院など大きな病院にお願いすることもあります。その場合は、患者さんと一緒にスタッフが予約をとるなど、スムーズな連携を心がけています。

Q3 地域の皆さまへメッセージをお願いします。

こはく皮フ科は、地域のみなさまがいつでも気軽に皮膚のお悩みを相談できる場を目指しています。院長は幼少期からアトピー性皮膚炎で、かゆみで眠れない日々を過ごしてきました。掻くの我慢するのは難しいことです。かゆみを取り除くのが、こはく皮フ科の役目ですので、悩まず、お越しいただきましたら嬉しく思います。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30~12:30	●	●	●	●	●	●	●	●
15:30~18:30	●	●	●	●	●	●	●	●
14:15~15:15 (美容のみ)	●	●	●	●	●	●	●	●

／休診日：月曜日・火曜日



診療科目 一般皮膚科・美容皮膚科
アレルギー科・小児皮膚科

住所 豊田市瑞穂町4丁目1-1

電話 0565-33-0589

2025年11月5日開院
豊田かなでクリニック

—加藤 友大院長に伺いました—



院長 加藤 友大

Q1 クリニックの特色を教えてください

当院は、地域のみなさまに安心して頼っていただける“かかりつけクリニック”をめざし、内科・循環器内科を中心に、高血圧、糖尿病、脂質異常症、喘息、睡眠時無呼吸症候群、お子さんの発熱などを含め、幅広い疾患に対応しています。オンライン問診や事後決済により、待ち時間の削減に努めています。

Q2 地域医療連携について先生が大切にしていることは何ですか？

患者さんが最適な医療を受けられるよう、地域の病院や各診療科との連携を重視しています。当院だけで完結せず、必要な際には専門医への紹介や検査依頼を迅速に行い、治療経過や情報を丁寧に共有することで、途切れない医療へつなげます。地域全体で支える医療体制の一端を担うことを使命としています。

Q3 地域の皆さまへメッセージをお願いします。

医師ウィリアム・オスラーの言葉に「医学は科学に基づくアートである」というものがあります。私たちは、確かな根拠に基づきながらも、一人ひとりの背景に寄り添う医療を大切にしています。SNSなどで医療情報があふれる今、「これ、聞いてもいいのかな…？」と迷われる前に、どうぞお気軽にご相談ください。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
6:30~8:30	●	●	●	●	●	●	●	●
8:30~12:30	○	○	○	○	○	○	○	○
12:30~15:45	○	○	○	○	○	○	○	○
15:45~19:30	○	○	○	○	○	○	○	○

／休診日：月曜日午後・木曜日午後・日曜日・祝日 ※予約優先制
○：事前に「予約・オンライン問診・事後決済」のご登録をお願いします。



診療科目 内科・循環器内科
小児科・睡眠時無呼吸

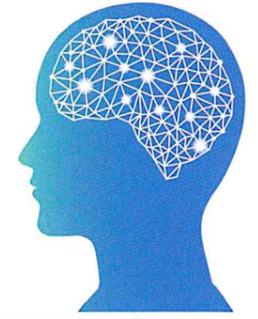
住所 豊田市渡刈町2丁目115番地2

電話 090-9396-9709

40歳を過ぎたら脳ドック適齢期

脳ドック

3コースのご案内



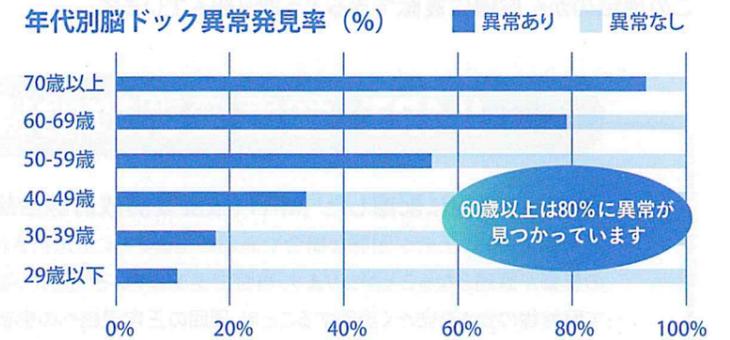
日本脳ドック学会
ガイドライン変更に伴い 令和8年4月リニューアル

こんな方に
おすすめ

- 脳疾患等を早期に発見したい方
- 軽度認知障害のリスクを調べたい方
- 高血圧・糖尿病・脂質異常・動脈硬化の診断を受けたことがある方
- 過度の飲酒・喫煙習慣がある方
- ご家族の中で脳の病気にかかったことがある人がいる方

Q 脳ドックの受診頻度は？

A 異常所見が見つからなければ2~3年に一度、所見や血管リスク(高血圧・糖尿病・脂質異常・過度の飲酒・喫煙習慣)がある方、ご家族の中で脳の病気にかかったことがある方は、1~2年での受診をお勧めします。



出典：メディカルチェックスタジオ データ分析：スマートスキャン株式会社

「人間ドック」「各種健診コース」をお申し込みの方は、「オプション料金」で脳ドックをお申し込みいただけます

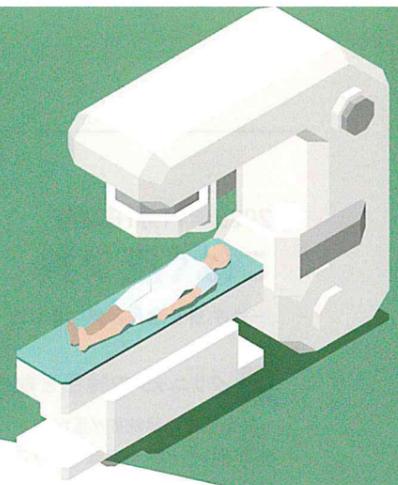
脳ドックコース	料金	オプション料金	▼検査詳細はこちら(外部サイト)
① 脳ドック	38,500円	26,400円	認知機能検査 【CQ test】
② 脳ドックプラス	50,600円	38,500円	脳MRI画像AI解析 【BrainSuite】
③ 脳ドックアドバンス	66,000円	53,900円	認知機能検査 【MCIスクリーニング検査プラス】 脳高速・心筋梗塞リスク評価 【LOX-index】

お勤めの企業、ご加入の健康保険組合によっては「脳ドック」の補助金がある場合もございます。

JA愛知厚生連
豊田厚生病院 健康管理センター 予約専用 TEL (0120) 78-5050
電話対応時間 平日 9:00~16:30 第1・3土曜日 9:00~12:00



負担の少ない放射線治療を目指して ～高精度なIMRTの活用と、心と体への配慮～



がんの治療には、主に「手術」「薬物療法」「放射線治療」の3つの方法があり、病状やがんの種類、患者さんの全身状態に応じて適切に組み合わせて行われます。放射線治療は、身体を切らずに治療できる方法として、近年技術的な進歩が続いており、治療精度の向上や副作用の軽減が図られています。また、がんそのものを治すことを目的とする治療だけでなく、がんに伴う痛みや出血、神経症状などを和らげる「緩和照射」にも用いられます。当院では、放射線治療に必要な設備や人員体制を整え、患者さん一人ひとりの状況に応じた、より負担の少ない治療の提供に努めています。地域医療の一端として、この地域のがん診療に貢献できるよう取り組んでいます。

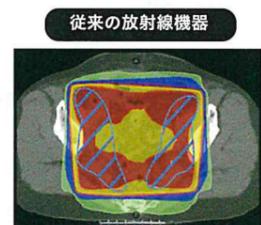


放射線治療責任者 高瀬 裕樹

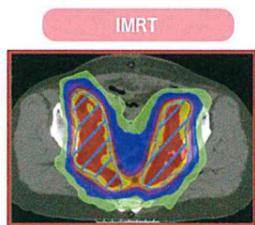
IMRT (強度変調放射線治療) の適応拡大

身体への負担に配慮した「IMRT (強度変調放射線治療)」

放射線治療は、手術が困難な場合や高齢の患者さんにも選択されることが多いですが、腫瘍の近くにある正常な臓器への影響が課題となることがあります。当院で実施している「IMRT (強度変調放射線治療)」は、腫瘍の形状や位置に合わせて照射線の強さを細かく調整することで、周囲の正常組織への影響を抑え、副作用の低減を目指す治療法です。



従来の放射線機器では、がんの周囲の組織まで照射の影響を受けやすい。



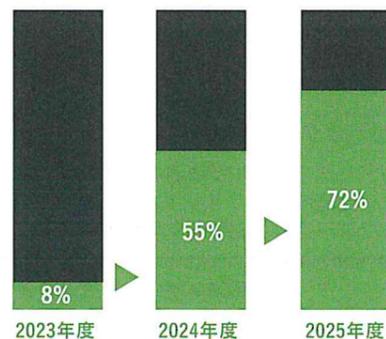
IMRT は臓器の形状に合わせてがんに集中的に照射でき、周囲の組織への影響を抑えることができる。



～IMRTが望ましい全ての適応患者さんに適応～

IMRTの実施には、専門的な知識を持つ医師や診療放射線技師、医学物理士などによる綿密な治療計画と品質管理が不可欠です。当院では2024年度以降、段階的に治療体制の整備を進め、2025年度からは、IMRT適応が望ましいと考えるすべての患者さんに対して本治療を提供できる体制で治療を行っております。

放射線治療のうちIMRTの占める割合適応外の患者さんは一定数いるが、2025年度は全ての適応患者に対し実施



身体的・心理的負担に配慮した取り組み

患者さんの負担を考慮した「日帰り緩和照射」

放射線治療は、がんの根治を目的とする治療だけでなく、痛みや出血、神経症状などを和らげるための「緩和照射」にも重要な役割を果たします。緩和照射は、比較的少ない照射回数(5～10回程度)で、身体的負担を抑えながら症状の改善を目指す治療です。当院が属する医療圏は広大ですが、放射線治療の実施施設は限られており、治療を受けるにあたり通院距離が長くなる患者さんもおられます。「不便だから行けない」「痛くて何回も通院できない」など、身体的・時間的な負担が課題となることが想定されます。こうした背景を踏まえ、当院では患者さんの状態や治療目的を慎重に検討したうえで、診察・治療計画・照射を同日に行う「日帰り緩和照射」を導入しました。診察から治療までを1日にまとめることで、通院負担の軽減やQOLの維持につながる選択肢の一つとして取り組んでいます。

緩和照射の適応例

- 骨転移による痛み
- 消化管がんや婦人科がんなどによる出血
- 腫瘍による神経圧迫に伴う麻痺・しびれ
- 肺がんや食道がんなどによる気道狭窄・呼吸困難

※適応は症状や全身状態により個別に判断します。

乳がん患者さんの心理的負担軽減に向けて

乳がんは日本人女性に多いがんの一つであり、放射線治療は主に手術後の再発リスク低減を目的として行われます。治療そのものだけでなく、治療環境や見た目の変化に対する心理的負担を感じる患者さんが少なくないことも知られています。当院では、治療中のご不安やストレスを少しでも軽減できるよう、治療環境への配慮を行っています。



システムの導入により、皮膚マーキングが不要に

当院では従来、患者さんの肌に直接複数のマークを描いて、肌のマークを利用して治療を行っていました。新たに当院に導入した「体表面モニタリングシステム」を活用し、皮膚マーキングなしで治療が行えるようになりました。



専用ガウンを使用し、治療時の露出を最小限に

乳がんの治療では、上半身の露出に対して心理的な負担を感じられる患者さんもおられます。当院では、照射に必要な部位のみを開閉できるガウンを使用し、肌の露出や時間をできる限り抑える工夫をしています。プライバシーに配慮し、安心して治療を受けていただける環境づくりに努めています。

